



感動のハーモニー

「1年生の合唱、素晴らしかったですね。どこも上手だったので、審査が難しいです。これからが楽しみです。」

文化祭当日、少し興奮気味に話しかけてくれたのは暁高校の岩木先生です。先生たちは顔を見合わせて喜びました。本当にお言葉通り、素晴らしい合唱でした。

学年合唱。いつも歌っている場所よりも、ピアノから離れたところからの合唱でした。音の伝わり方が違うことに加え、緊張しているせいか、いつも通りに声が出せない様子でした。

そんなスタートからの1組の合唱でした。1組の合唱はア・カペラから始まります。難しい歌い出し。(どうか・・・) 祈るような気持ちで聞いていましたが、見事に声をそろえて歌いきりました。授業では拳手を躊躇(ちゅうちょ)する消極的な面がある1組が一步前に進んだ姿を目の当たりにしました。学校全体のトップバッターは責任重大です。その大役をしっかりと果たした1組。あっぱれでした。

3組。パートリーダーたちは練習が上手くいかないと悩み、それでもくじけずいろいろな練習方法を工夫していました。次第にその熱意に応えていくクラスのみんな。いつのまにか、朝練習に笑顔があふれるようになっていました。そんな姿が「キャプテンキ〜ッド」のアップテンポな部分によく表現されていました。パワーあふれる3組らしい歌声が体育館に響いていました。

4組。練習中、少し幼い男子の姿が見られました。それをどこか冷めた目で見つめる女子。この溝(みぞ)は埋まるのかと心配したときもありましたが、パート練習を重ね、次第に男子は男性へと成長していきました。ディリーノートにはクラスの合唱を想う文章が増えていったと日置先生から聞きました。その心が歌声にのって、歌詞を感じる合唱となっていました。

2組。日頃から班長会をして、クラスの問題をよく話し合っているクラスです。合唱の練習でもいろいろな意見を出し、時にぶつかり合っていたと聞きました。そんな風に意見のぶつけ合いができるクラスは、なかなかありません。本音を言えるということはクラスをつくる大事なプロセスです。そして最後にまとまった!! 合唱が2組を結びつけたことを感じる歌声でした。

6 組。練習のスタートはなんとなく合唱に乗り気でない雰囲気を感じました。しかし、さすが体育祭優勝クラスです。丁寧なパート練習を重ねる中で、どんどん団結力を発揮していきました。さらに、練習時間に無駄はありませんでした。一度歌い終わると、すぐさま次を歌い出すその集中力に驚かされました。均整のとれた美しいハーモニーにクラスの絆を感じました。

5 組。常に目標を掲げ、約束事を決め、テキパキ指導するリーダー。それを手助けする人たち。声かけが聞こえない日はありませんでした。けんかして、泣いてをくり返す姿もありましたが、そんな仲間を放っておかない優しさがありました。男女別れることなく、話し合って練習を積み重ね、つくってきた合唱。バラバラだった声がつながったのは、そんな背景があったからこそですね。

初めての文化祭が終わりました。思い出なんていうふんわりとしたものではなく、あの日あの時、あの瞬間に感じた感動を力にしてください。そして、いつでも、どこでも発揮してください。みんなの中には、まだまだ秘めたパワーがあります。岩木先生の「これからが楽しみ」という言葉には、そんな意味が込められていたのではないのでしょうか。

クラスとして、学年としても、さらに上を目指していきましょう。合唱練習にくじけそうになっても、仲間との関係を投げ出しそうになっても、あきらめずにやり切ったから、「感動のハーモニー」を生みました。どんなことも同じです。この経験を忘れないでくださいね。

本当に素晴らしい合唱を聴かせてもらいました。どうもありがとう！！

～最後に、指揮者、伴奏者のみんな。陰での努力に敬意を表します。クラスの歌を支え、引っ張ることは本当に難しかったでしょう。お疲れ様でした。そしてありがとう！～

おめでとう！

金賞 **1年5組**

銀賞 **1年4組**

銅賞 **1年6組**

指揮者賞 **門脇 未来さん**



ひとつになれた瞬間



三泗地区中学校駅伝競走大会 出場！

11月6日（火）に伊坂ダムにて行われた上記の大会に、1年生ながら選手として参加したのは

野呂 はるなさん

井上 月さん

岩城 里空さん

の3名です。当日はたいへん緊張したと思いますが、力走だったと体育科の先生方から聞かせていただきました。練習に努力し、二度の選考会を経ての駅伝大会参加。こちらも来年が楽しみです！

